



宮原良治司教認可
発行所 福岡司教区本部
福岡市中央区浄水通6-28
発行 人
カトリック福岡司教区三
編集人 森山信三
TEL 092-522-4059
FAX 092-523-2152
振替口座 01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価 一部60円

4月の意向
教皇様の意向のために祈りましょう
【一般】 召命
【宣教】 アフリカの希望であるキリスト
【日本の教会】 カトリック学校における
宗教教育

3・11東日本大震災から1年を迎えて
小教区で、地域で、祈りや分ち合い

3月11日、東日本大震災発生から一年目を迎え、日本各地で、また海外で被災地への思いを一つにして亡くなった方々への追悼と再生・復興を願う祈りの集いや種々の行事が開催された。福岡教区では、四旬節第3主日のこの日、各小教区で追悼と復興へ寄せる人々の思いが神のいつくしみの中で実を結ぶよう祈りを捧げた。また、福岡では、市内のキリスト教諸教派教会から教職者、信徒250人が参加して、「東日本大震災一周年にあたり追悼と再生を願う福岡合同祈禱会」が日本基督教団福岡中部教会で行われた。北九州では、カトリック小倉教会で、「あの日・今・これから」をテーマに、被災地支援の集いが催された。

日本キリスト教団
福岡中部教会に
250人が集って



福岡の合同祈禱会は、震災から半年目の昨年9月11日、福岡教区エキムメニズム委員会の呼びかけで大名町教会で行われた、キリスト教諸教派合同祈禱会を引き継ぐ形で、

主のご復活をお祝い申し上げます

日本基督教団、日本バプテスマ連盟、日本福音ルーテル教会、日本聖公会、カトリックの代表者からなる実行委員会が主催して開かれたもの。カトリックの代表は、エキムメニカル委員会担当のG・ミシエル神父(箱崎教会主任)。合同祈禱会は、午後2時半、オルガンの前奏で開会。主司式者の入江清弘牧師(日本基督教団)のあいさつ、招きのことばに続いて復活のローソクに灯が点された。続いて開会の詩編を、共同司式者をつとめた各教派の教職者の先唱に会衆が応唱して、香の煙と香りとともに神にささげた。ことばの典礼では、ヨハネ福音書の15章11・17節が朗読され、互いに愛し合うようにとの主のご命令が与えられた。そして2時46分、琴による「六段の調」が流れる中、全員で黙祷をささげた。

説教に立った宮原良治司教は、震災から間もない昨年4月に、宮城県で、自身被災者の男性の「娘たちに、母親を奪った津波の瓦礫を毎朝見せるのは嫌だ、何とかしよう」との呼びかけに共感して集まった人たちのグループ「スコップ団」の活動を紹介。「見ず知らずでも助けを求めている被災者は皆「困っている友人」として、身近なことから行動する。スコップ団の活動は、人格と人格のふれあい、融合により生まれるエネルギーであり、それこそイエスが言う愛そのもの、目の前の、必要としている人に、自分の食卓から、家庭から、互いの気づき合いから、今再出発しよう」と語りかけた。スコップ団では、「わたしの一番の後悔は『今日もあなたを愛してる』と伝えなかつたこと。今は元気にしている」と伝えたい」との老婦人のことばに共感、「皆がまた元気でいて、笑っていた」昨年の3月10日を思い、今年の日、一番天国に近い山から「鎮魂の花火」2万発を打ち上げたという。

各教派の代表による追悼と再生・復興を願う共同祈禱をささげて祈禱会を終えた。祈禱会の後の会場で、昨年

福岡から避難してきていたある家族と、被災者のために昨年からの住宅の提供を申し出ていたカトリックの信徒との出会があり、近く引越すことになった。

「あの日・今・これから」
小倉教会での3・11



小倉教会では、第3回目となる被災地支援の集いが「あの日・今・これから」をテーマに130人が参加して実施された。

最初に、山元眞神父(小倉教会主任)が、「あの日、大震災が起こった日、震災が始まった日、それはまだ続いています。あの日、直接被災していない私たちは、地震、津波、原発事故によって愛する人や大切なものをすべてをなくした人たちに寄り添いたいと思います」とあいさつ。午後2時46分、黙祷をささげた。実家のある北九州市に、仕事で来られない夫を残し幼い子どもと避難してきた福岡県二本松市の主婦、岡直子さんが、「福岡の人々、特に子どもたちは、放射能汚染の不安

時の話題
角田茂子

3月11日(東日本大震災1年)大槌町に立ちました。大槌ベース前の城山に登りあたり一面を見渡すと雪をかぶった家の土台が延々と堤防まで続いている。遠くでボランティアの若者がスコップで作業していたので、近寄ってみると転がった大きな石の碑のまわりをきれいに片付けています。その碑は「昭和8年大津波記念碑」。碑文には被害状況とともに「地震があつたら津波を用心せ

よ。津波が来たら高いところへ逃げよ。危険地帯には住居するな」とありました。「自然の力は人知を超えよ!」たかさんの出会いもありました。監視小屋のおじさんに「休んでいきなさい」と呼び止められストローを囲んで話を聞く事ができました「大槌では地震と津波と火事と寒さで多くの人が亡くなったんだよ」と。また自宅も職場も兄弟も失くし、でも唯一残ったカメラと携帯で被災の翌日から大槌の町を撮り続けている伊藤さんが町のスーパーマーケットで写真展を開催、その受付などを手伝いました。来場された方達が写真に見入りながら「地震当日は逃げるので精一杯でどうなったのか知らなかったんだよね」「ここが自分の家だよ」などと説明されるのをただ領いて聞くばかりでした。そして現地の若者たちと被災した家屋の柱から木工品を作り大槌町に元氣と経済をと頑張っている社団法人の池ノ谷さん。熱く語られる思いに思わず「頑張ってください」と。殆ど町の復興が進んでいない中、皆さんが知恵を出し合い協力し合っている様子に力をいただきました。大槌町を発つ時、合同慰霊祭の会場でお祈りし献花できたことに感謝します。教区福岡地区婦人会会長

祝 司祭叙階60年・50年・25年

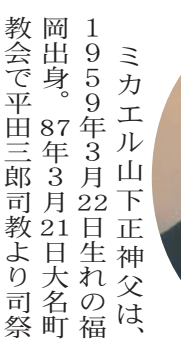
司祭叙階から60年を迎える山田成章神父様

フランシスコ・ザビエル山田成章神父は、1925年3月28日生れの長崎出身。52年3月19日浄水通教会で、ドミニコ深堀仙右衛門司教より司祭叙階。呼子教会、本郷教会、健康教会、浄水通教会、老司教会、光丘教会、茶山教会の主任司祭を歴任。この間、77年4月から85年8月まで本紙編集長。82年から90年平田三郎司教のもとで司教総代理を勤めた。

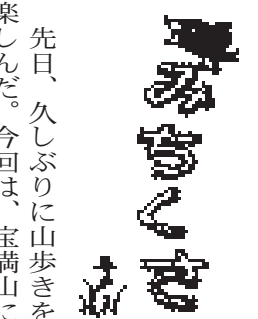


金祝を迎える
M・オファレル神父様
人吉教会の主任司祭を勤めるオファレル神父は1938年7月14日アイランドのリズムア生れ。62年12月21日司祭叙階。71年来日し、福岡教

ミカエル山下正神父は、1959年3月22日生れの福岡出身。87年3月21日大名町教会で平田三郎司教より司祭叙階。司教秘書、教区教会裁判所公証官、直方教会主任、教区本部法人事務担当など歴任。現在、司祭の家の管理者。



銀祝を迎える
山下正神父様
区では菊池教会を経て、人吉教会で司牧宣教の後、80年から4年間熊本のマリスト学園で教鞭を取った。聖コロンバ研究会の中国での宣教の歴史の研究者。



先日、久しぶりに山歩きを楽しんだ。今回は、宝満山に登ることにした。「宝の満ちる山」という名は、何とも奥ゆかしい。宝とは決して財宝のことではなく、霊的精神的宝のことと考えたい。なぜなら、この山は、英彦山などと並んで山岳信仰の拠点だったからである。多くの修行僧や、修験者が修業を重ねた聖なる山だった。その証拠に今でも、あちこちに往時を偲ばせる寺や僧宿などの遺跡が点在している。例えば5合目あたりに「殺生禁断」と彫った石碑が目に入ってきたりして、はっとさせられる。延々と続く石段は、修験者たちが修業の一環として、何千個、何万個もの石を持ち上がったのだらうか。大変な作業だったに違いない。もう少し、登っていくと芭蕉の句碑が目に入ってくる。「世の人の 見付けぬ花や 軒の栗 この句は奥の細道に収められてる句で、芭蕉が白河の関を越えた後に詠んでいる。彼は、世を避けてひっそりと暮らす高潔な僧の庵を訪ねる。栗の花とはどんな花だろうか、見たことがない。それほど人の眼にとまらない花である。同じように、この高潔な僧は誰からも注目されることも尊ばれることもなく、お暮らしなのだが、その生き方が芭蕉と重なるところがあつたのかもしれない。イエスが亡くなられた時、その死を看取つたのは数人の女性たちだけだった。まさに「世の人の見付けぬ花」であった。しかし父なる神には、愛され尊ばれた花であった。私もそんな花として咲いたら素晴らしいと思う。「かくれ家や 目立たぬ花を 軒の栗」芭蕉

殉教者を学ぶ、教会学校黙想会

大名町教会の教会学校では四旬節の黙想会が行なわれた。テーマは熊本県花岡山で殉教した『小笠原玄也一家』について。当初巡礼を予定していたが都合で順延となり、小学校1年生から高校生までが一緒に理解を深めてから再度巡礼を計画し直すことになった。



まずは殉教者を知ることから始まった。時代や歴史感覚、そして殉教という言葉にもなじみのない子どもたちにはその概要を理解するだけでも大変だったが、同じ信仰を生きていた彼らを知ることで殉教者たちがずっと身近な存在になったようだ。午後には小学生と中学生が分かれ、ゆつくりと分かち合いを行うことさらに理解と共感を深めることができた。「信仰を捨てろ」と言われたらどんな気持ちだろう」「信仰を捨てさせようとした人の気持ちは?」「大好きな人を嫌にならなくて言われたら?」「どうして信仰

殉教という難しいテーマに、リーダーが現地での観察と学びをもとに史実に基づいた説明を行い、また紙芝居や一家の相関図などを準備し、

ニュースで見た大槌町には何もなかった



現地には復興に燃える人々の輪があった

津波に全てを奪われ、途方に暮れる人々。何も無いその地を埋め尽くす

がれきの山、ヘドロなど、絶望的な状態ではないかと思っただ。実際、大槌の地に踏み入り、辺りを見回すと、ほとんど何もなかった。正直、見るのが辛かった。一年経ったにも関わらず、絶望的なままかと思いきや、まま、大槌ベースに入った。でも、ボランティアをしていくうちに自分の間違いに気付いた。人々の輪があった。復興に燃えているのが分かるくらい、現地の人々には笑顔と元気であふれていた。テレビを見ながら落ち込んでいた自分が恥ずかしくなった。

を捨てなかつたのかな?」「自分だつたらどうするか?」「神様に愛されているとどんな時に感じる?」「神様に喜んでもらえることってなんだろ?」「リーダーの先導のもと、ポストイットに各々感じたことを書いては発表するということを書き返した。子どもたちからは「自分だつたら変装して教会に行くよ」「神様に喜んでもらえることは、友だちと仲直りすること、親切にすること」「教会に通い続けたい」「神様に愛されるかな」「殉教って特別なお恵みだと思ふ」など多様な意見が出ていた。

1人のリーダーは「今回の黙想会で、殉教者は命をかけて信仰を強く証した人ということを学び、キリストという最初の殉教者の存在に強められ、愛されていることを実感しながら、喜んで生きていた人たちなんだということを感じました。この豊かな学びを携えて、花岡山巡礼へと行きたいですね」と語った。

レジオ会員の奉獻を更新



レジオオ・マリアの奉仕活動は、今年3月に更新する。省み、年に一度、毎年3月に聖母マリアへの奉獻を更新する行事を行う。

今年の奉獻式は、去る3月11日(日)、佐賀、鳥栖、小郡、光丘、高宮、笹丘の各小教区から会員が集まり、高宮教会聖堂で行われた。

当日は、東日本大震災発生から1年目にあたり、被災地から1年目にあたり、被災地

感謝 小さな者への神の慈しみをマリアと共によろこび生きる

教会の皆様とともにあたたかな交わりのもとに過ごさせていただけたいことは、私たちにとって大きな恵みでした。私たちは、キリストの里と呼ばれる自然豊かな信仰深い人々ともにも過ごしたこの天草から2012年3月31日をもって離れることになりました。これまで頂いた教会からのご配慮、またそれぞれの小教区の皆さまに感謝し、福岡教区に貴重な宝である天草の教会が、新たな歩みに入ることをご心から祈っております。ほんとうにありがとうございます。

大江修道院一同

写真展の手伝いと、近くの赤浜での漁師さんのお手伝いでした。

写真展では、「現地のみなさんは思い出すのがつらいのでは?」「せつなく前へ進もうとしている気持ちを傷つけてしまっているのでは?」と思いましたが、ご自身も震災の被害を受けながらも写真展を手伝ってくださった方は、「そう言っただけで私たちが現実から目をそらすことはできないし、忘れてはいけないという思いでいるんだよ」と言われました。

真暗な街の中で、明かりを灯す大槌ベースはとも温かく、安心して過ごせる場所でした。「ボランティアというのは、ただ作業をしたかではなく、作業するなかで出会う人、すれ違う人とだけではない。声を掛け合い、どれだけ相手を大切にできるかというの

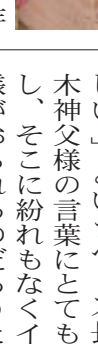
2度目のボランティアだったけど



今回は、震災直後から大槌の姿を撮り続けた方

被災地には、テレビだけでは分からないことがたくさんあった。復興は進んでいる、という報道が多いが大槌にはまだ、何も無い。それにも関わらずボランティアは減って

漁港ではホタテの養殖の作業



業と、がれきの山から浮き球を取りだす作業をしました。町を支えてきた漁師さんたちはとても元気で、この土地と自らの仕事に誇りを持っていて、それが伝わってきました。

黒崎教会信徒 有吉優里

黒崎教会信徒 有吉優里

本日は、東日本大震災発生から1年目にあたり、被災地

本日は、東日本大震災発生から1年目にあたり、被災地

Advertisement for 'Japan Smile' (ジャパン・スマイル) featuring a logo and contact information.

Advertisement for FPC (福岡プライマリケア訪問看護ステーション) providing home care services.

Advertisement for 'Moriyama Construction' (森山工務店) offering general building services.

Advertisement for 'Sent Paul' (セント・ポール) featuring a logo and contact information.

救いの秘儀を知り、追体験し、生き、伝える

2012年福岡地区聖書講座 ③

年間テーマ：福音 ～イエスとの出会い『マルコによる福音書を読む』
日時：5月20日(日) 14:00
テーマ：イエスの道の曲がり角と障害(6章30～8章26)
講師：エドウィン神父(高宮教会主任司祭)
場所：カトリック大名町教会1階講堂
主催：福岡地区信徒使徒職協議会 聖書典礼部会

2012年度北九州地区聖書講座

年間スローガン：ともに学び、生活の場で伝えよう～マルコによる福音書に導かれて～
日時：4月15日(日) 14:00～16:30
テーマ：イエスの死と復活を語る
講師：深堀勝人神父(湯川教会主任司祭)
場所：カトリック小倉教会
主催：北九州地区信徒協・聖書部会

聖書に集う会

日時：2012年4月16日(月) 19時～20時30分
テーマ：福音書って何?
場所：サンパウロ福岡宣教センター1階会議室
講師：鈴木信一神父(聖パウロ会司祭)
対象：19歳以上 どなたでも参加費：200円
持参品：新約聖書(出版社不問) / 次回：5月7日
連絡先：☎092・721・2032 (平日10:00～18:00)

ケセン語訳聖書の山浦玄嗣氏を迎えて 世界広報の日 講演会

日時：2012年5月6日(日) 14時～17時
テーマ：心に響け《よきたより》
場所：カトリック大名町教会1階講堂
講師：山浦玄嗣(ハツグ) 医師(大船戸教会信徒)
対象：どなたでも参加ください。
参加費：500円(高校生以下無料)
主催：教区広報委員会/後援：福岡地区信徒協

震災のための祈りのリレー

日時：4月11日10時30分朝の礼拝～19時30分夕の礼拝
会場：伊都キリスト教会(バプテスト派)(JR筑肥線今宿駅)
問合せ先：fr05abe19ko@yahoo.co.jp Br. 阿部光一
*どの時間帯からでも参加自由です。

第50回アイルランド国際聖体大会 日本公式巡礼団募集

大会テーマ：聖体はキリストのいのち、わたしたちのいのち
旅行期間：2012年8月9日(日)～8月19日(火)11日間
巡礼区長：平野 隆司(東京)
旅行費：498,000円(参加費別)
募集期間：2012年3月27日～5月31日
*募集要項は本報掲載。詳細はホームページをご覧ください。
主催：日本カトリック宣教協議会
ご予約・お問合せは
(株) 国際巡礼団 日本公式巡礼団 東京事務所
TEL:03-6745-7377 FAX:03-6745-7371
http://www.weltravel.com/kikaku/vec/

福岡地区エキュメニカル推進の集い 第6回

日時：2012年4月29日(日) 16時～18時
場所：大名町教会、1階信徒会館
対象：福岡地区の信徒の方(興味のある方)
第一部：開会(祈りと種々の報告)
第二部：養成(教えと分かち合い)
講師：ドミニコ宮原良治司教
第三部：活動協議(これからの活動協力について)

福岡教区広報室アドレス

http://fukuoka.catholic.jp
E-mail: cdf-kouhou@nifty.com

主のご復活おめでとうございませう。と言っても教区報4月号を皆様のもとにお届けできる日は聖週間の始まりです。主の過越を心を合わせて記念してまいりましょう。さて、4月号から「典礼シリーズ」が始まります。執筆者は、大神学院の白浜神父様です。典礼に関する素朴な疑問に答えていただくという形をとりたいと思います。ご期待ください。もし、お尋ねになりましたら、お気軽にメールやファックスでお寄せいただければ幸いです。よき復活祭を!

編集後記

主のご復活おめでとうございませう。と言っても教区報4月号を皆様のもとにお届けできる日は聖週間の始まりです。主の過越を心を合わせて記念してまいりましょう。さて、4月号から「典礼シリーズ」が始まります。執筆者は、大神学院の白浜神父様です。典礼に関する素朴な疑問に答えていただくという形をとりたいと思います。ご期待ください。もし、お尋ねになりましたら、お気軽にメールやファックスでお寄せいただければ幸いです。よき復活祭を!

案内板

会合と催し

4月のこよみ

福岡黙想の家ご案内 4月

2日(月) 四旬節一日講話(指導: 来住英俊神父)
4日(水)～5日(木) 笹丘カトリック幼稚園 研修会
21日(土) 福岡チェナクルム
27日(金)～30日(月) 日本心身医学教会 研修
5月
4日(金)～6日(日) クルシリオ
12日(土)～13日(日) 黙想の家後援会 黙想会・総会(左記に変更になりました)
*祈りたい時 祈るために/疲れた時 休むために/学びたい時 学ぶために、個人黙想をご利用ください。
〒811-4155 福岡県宗像市名残1056
☎0940・32・3222 0940・32・3385
Email: fmokuso@mvi.biglobe.ne.jp
インターネットで検索 福岡黙想の家 検索

真命山諸宗教対話・靈性交流センター

※祈りの集い
年間テーマ：御聖体、愛の秘蹟
・日時：4月12日(木) 10時～14時半
・内容：教会を生み出す聖体
指導者：フランコ・ソットコルノ神父(真命山院長)
ダニエレ・サルツィ・サルトリ神父
Sr.マリア・デ・ジョウルジ
問合せ先：真命山諸宗教対話・靈性交流センター
・次回：5月10日(木) 御聖体とおとめマリア
☎0968・85・3100 0968・85・3186・玉名郡和水町蜻浦
1391-7・E-mail shinmeizan@chive.ocn.ne.jp

カテドラルでのゆるしの秘跡

日時：4月21日、5月5日、5月19日 10時～12時
場所：カトリック大名町教会小聖堂

◆福岡
■聖霊による刷新福岡祈りの集い(日時) 毎週月曜11時から(場所) 大名町教会1階(内容) 賛美と感謝の祈り・聖書の分かち合い(問合せ先) ☎092・821・6349 森
■第3回キリスト教講座開講(日時) 4月11日(水) 毎水曜19時から・4月13日(金) 毎金曜10時から(場所) カトリック大名町教会(参加費) 原則無料(対象) キリスト教に関心のある方(問合せ先) ☎092・41・3687
■カメルル在会(日時) 4月16日(月) 10時半(場所) 福岡女子カメルル会修道院聖堂・テレサの家(内容) ミサ・講話(創立史)(大聖テレジア著)(指導) カメルル会司祭(問合せ先) ☎097・551・1360 中林
■聖ヨアキム&聖アンナ会(日時) 4月16日(月) 13時(場所) カトリック笹丘教会聖堂(内容) ロザリオとミサ(参加費) 献金(問合せ先) ☎090・9568・0076 野川
■グレゴリオ聖歌を歌う会(日時) 4月17日(火) 11時(場所) 聖クララ寮(福岡市南区塩原)(内容) 聖霊賛歌(問合せ先) ☎096・380・5686 堺敬子

■こひつじ会(精神障がい者と家族の会)(日時) 4月21日(土) 14時～16時(内容) 「いちご大福」を作るIIQOL(生活の質)を高めるために楽しく過ごしましょう(指導) 家族有志(場所) カトリック案内所(福岡黙想の家) 自由ヶ丘南2丁目(参加費) 無料(自由献金)(連絡先) ☎0940・33・27 31吉永昌子
■東日本震災復興のためのチャリティコンサート(日時) 4月22日(日) 14時(場所) 雪の聖母聖堂 聖マリア病院内(演奏) パイプオルガン(松本俊徳) 長崎純心大学教授(合唱) コラール長崎(長崎カトリック合唱団) お告げのマリア修道会(曲目) ご復活の聖歌 他(問合せ先) ☎0942・35・3322 チャプレン室 山本啓子
■ザビエル合唱団会告知(日時) 4月28日(土) 13時半(場所) カトリック西新教会(指導) 新垣王敏氏(会費) 二千元(問合せ先) ☎0940・33・5423 橋本

◆北九州
■北九州召命を共に祈る会(日時) 4月12日(木) 14時(場所) カトリック小倉教会(内容) ミサとミーティング(指導) 井手公平神父(門司教会主任)(問合せ先) ☎0949・24・9905 藤井
■小倉祈りの集い(日時) 4月27日(金) 13時半(場所) カトリック小倉教会信徒会館2階(指導) ガブリエル神父(御受難会)(内容) 『みことばを味わう』賛美

◆熊本
■熊本地区召命を共に祈る会(日時) 4月19日(木) 11時(場所) カトリック健康教会(問合せ先) 健康教会 ☎096・368・2825 青木悟神父
■カトリック看護協会福岡支部の集まり(日時) 5月6日(日) 14時(場所) 聖心病院(内容) スピリチュアルケアの学びと分かち合い(問合せ先) ☎096・352・7181 Sr 竹内
■熊本結婚準備講座(日時) 5月12日(土) から6月9日毎週土曜日の全5回(19時～21時半)(場所) カトリック手取教会(参加費) カップルで1万円(問合せ先) ☎096・352・3030 F 096・352・1515

COSMOS
スポーツ用品・OA・文具
〒830-1224 三井郡大刀洗町鶴木67-3
TEL 0942-77-3199
代表者 ベトロ 平田 清

社会医療法人 雪の聖母会
聖マリア病院
医科・歯科臨床研修指定病院
総合産科医療センター
福岡県久留米市津福本町422
TEL0942 35 3322(代表)
FAX0942-34-3115
http://www.st-mary-med.or.jp

殉教の聖地 五島列島巡礼ツアー
添乗員が同行 詳しいパンフレットを郵送します
集合12日・3日間は佐世保港9:40、5日間は長崎港7:15
◆10教会2日間(出発15月3、7月14日)【旅行代金】28,000円
◆20教会3日間(出発15月3、7月14日)【旅行代金】48,000円
◆全54ヶ所5日間(出発15月20日)【旅行代金】185,000円
【旅行企画・実施】株式会社 長崎ツーリスト公社
・095-894-9755 FAX 095-894-9760
長崎市音無町12-12-304 全国旅行業協会会員
長崎県知事登録第2-144号 総合旅行業務取扱管理者 吉村 徳明

ともにたたえ
告げ知らせよう!
主・キリストは復活された!
4月の休業日 8、15、23、29、30
サンパウロ福岡宣教センター
10:00～18:00(月～土)/日・祝日休業/地下鉄赤坂駅より徒歩3分*駐車場完備
〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26 ☎092-721-2032 fax.739-3930